

「なぜなぜ分析」で問題の真因に辿りつけない！ 「行為保証2.0」をベースとした再発不良クレーム 解決手法「“行為保証2.0”真因究明法」

個人の熟練度に依存する従来型問題解決手法(なぜなぜ分析など)とは異なるやり方で
不良・クレームから問題・問題点・真因・処置・対策・対策の検証を明確化!

日時 2020年 **1月10日(金)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  **日刊工業新聞社**

会場 **日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム**
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **44,000円** (資料含む、消費税込)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分
東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

| 口座名義 | りそな銀行 | 東京営業部 | 当座 | 656007 |
|----------|---------|-------|----|---------|
| ㈱日刊工業新聞社 | 三井住友銀行 | 神田支店 | 当座 | 1023771 |
| | みずほ銀行 | 九段支店 | 当座 | 21049 |
| | 三菱UFJ銀行 | 神保町支店 | 当座 | 9000445 |

●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

1/10 真因追及メソッド

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：44,000円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

| | | | | |
|-----|------|-------|--------|--|
| 会社名 | フリガナ | | 業種 | |
| 氏名 | フリガナ | 部署・役職 | TEL | |
| | | | FAX | |
| 所在地 | 〒 | | E-mail | ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。 |
| 備考 | | | | |

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190441

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催にあたり

製造業の問題解決法として代表的なものに「なぜなぜ分析」があります。確かに「なぜなぜ分析」は優れた手法ではありますが、行う実施者の熟練度によって、分析に大きなバラツキが生じるため、結果、問題の真因に辿りつくかは「実施者次第」という欠点があります。

「行為保証2.0」では、現場で発生した不良を検証し再発しない対策を立てるのに「真因究明法」という問題解決手法を使います。「真因究明法」は行為保証の考え方を基本に、独自の「問題真因構造図」を使った「真因究明法手法」で、不良・クレームから問題・問題点・真因・処置・対策・対策の検証を明確にします。個人のスキル(言語力・発想力・知識・経験)によってバラツキが発生する「なぜなぜ分析」に代表される従来型の問題解決法と異なり、「真因究明法手法」は課題解決思考の雛形である「問題真因構造図」を使いますので、問題構造が理解できれば新人でも使うことができます。問題・問題点・真因の特定がわかりやすく、また4M(人・方法・設備・材料)に分類でき、誰にでも使える「問題解決手法」です。

「行為保証2.0」真因究明法とは

従来の問題解決手法とは違い、行為保証という考え方でアプローチします。発生させた不具合を「問題真因構造図」に当てはめて、問題・問題点・ヒヤリハット・真因・対策・対策の有効性までを行うことができ、技術力や熟練度に左右されず、新人管理者でも、正しい対策を立てることが可能です。

【対象者】 製造部、品質管理部、品質保証部、品質に関する組織・部署の管理監督者 など

講師

株式会社遠藤メソッド 営業企画部長、認定コンサルタント **遠藤 友貴哉** 氏

【略歴】 介護業界、システム開発、国会議員秘書など多くの業界を渡り、2012年株式会社遠藤メソッド入社。その後、多くの行為保証導入プロジェクトに参画。現在は、製造業だけでなく、介護現場などサービス業への「行為保証2.0」導入指導を行う。

プログラム

1. 行為保証とは

2. 問題真因構造図とは

- 1) 1 : 29 : 300と1 : 9のハインリッヒの法則
- 2) 対策と処置の違い
- 3) 7つの原則
- 4) 再発不良クレームのメカニズム
- 5) 2つのバスタブ曲線（故障と不良）
- 6) 製造品質・初期故障における問題発生メカニズム

3. 真因究明ストーリーとは

- 1) 5ゲン主義に準ずるアプローチ
- 2) 真因特定と対策

4. ビデオ演習

- 1) ビデオによる不良現場観察
- 2) 真因究明マップの作成
- 3) ビデオによる現場観察
- 4) 真因特定および対策の立案（発生と流出）

◎ 質疑応答